

### 3) 松川浦客土効果調査

佐々木 恵一・石井 孝幸・加藤 靖

#### 目 的

平成10年7月に松川浦内に施した客土の効果を検討する。

#### 方 法

図1に調査地点を示す。

ここに示した4地点のうち、st.1、st.3が非客土区、st.2、st.4が客土区である。この各調査点において、平成12年10月11日にアサリおよび底土をサンプリングし、以下の項目を測定した。

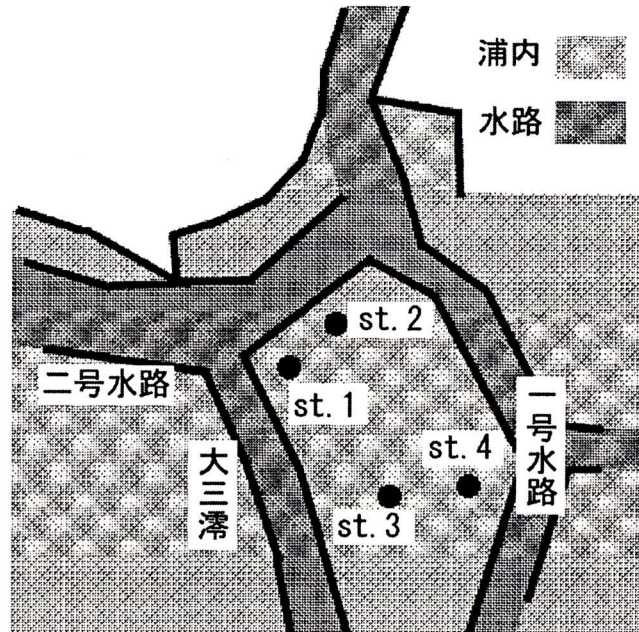


図1 調査地点

#### (1) 粒度組成

サンプルを乾燥させた後、篩にかけて粒の大きさ毎に分離し、その重量組成を調べた。

#### (2) 硫化物

調査地点から採取したサンプルの一部を用いて、各調査地点の硫化物量をヘドロテックS検知管により測定した。

#### (3) COD

調査地点から採取したサンプルを用いて、各地点のCODを過マンガン酸カリウム滴定法で測定した。

#### (4) アサリ現存量調査

各地点の底土の25cm×25cm、深さ10cmをスコップで採取し、1mm目合いの篩にかけてアサリを回収し、個体数と殻長を測定した。

#### 結 果

#### (1) 粒度組成

各調査地点の粒度組成を表1に示す。

st.2(客土区)は、粒径0.25mm以上が重量比で80%弱を占め、他の地点と比較して大きい傾向にあった。一方、st.4は、粒径0.125~0.25mmの区間で全体の70%以上を占め、同じ客土区でも組成の違いがみられた。なお非客土区のst.1とst.3では組成の違いは見られなかった。

表1 地点別粒度組成(重量比%)

粒径(mm以上)	st.1	st.2	st.3	st.4
0.500	22.75	40.92	16.49	1.15
0.250	21.69	37.05	14.55	6.02
0.125	50.83	21.10	54.51	74.61
0.063	2.79	0.50	7.50	16.21
0.063以下	1.94	0.43	6.95	2.01

st.2、4が客土区